



阿賀野市立安田中学校 学校だより 〒959-2221

新潟県阿賀野市保田 4419 番地

TEL (0250) 68-3013

3月号 令和4年3月2日 発行

# Wind

## 「風に立つライオンであれ」祝 卒業

～第75回卒業証書授与式の式辞より～

春の日差しもしだいに暖かさを増し、校庭の桜の蕾も色付き始め、春の訪れを感じる季節となりました。

本日 ここに、阿賀野市立安田中学校 第75回 卒業証書授与式が保護者の皆様からのご列席を賜り、コロナ禍ではございますが、無事に挙行できますことを心より御礼申し上げます。

保護者の皆様のお喜びも、ひとしおのことと存じます。

さて、76名の卒業生の皆さん 卒業おめでとうございます。今年度は、半世紀ぶりに行われた東京オリンピック、冬季北京オリンピックなどの歴史的祭典やイベントが行われ、多くの感動がありました。

安田中学校の生徒会活動でも「結（むすび）～思いをつないで～」のスローガンを掲げ、先輩達から引き継いできた「思い」や

「絆」を大切にし、コロナ禍で制限されながらも、縮小された行事や活動に懸命に取り組む姿がありました。昨年度は中止となった部活動の地区・県大会、各種コンクールと持てる力を発揮して輝く安中生の姿がありました。最高学年として臨んだ体育祭、合唱祭では下級生の良き手本となり、学校や軍団をリードし、それぞれが素晴らしい「絆」を深めることができました。

卒業生の皆さんには、卒業という節目に際し、「風に立つライオンであれ」という言葉を贈ります。この言葉は、卒業生が学んできた道徳の教科書の一節にも記載されています。自己の使命を理解し、どんな逆境であっても立ち向かっていく、強く、たくましい生き方のことです。コロナ禍で沢山の皆さんが「我慢」をしいられ、逆境を味わってきました。

この詩の作者である さだまさしさんは、「人はきっと一人一人が天から使命を授かって生まれてくる。人生とは自分に与えられた使命を探す長い旅であり、思い通りには決して生きられない、苦しみや悩みに満ちている。そんな人生の中で悩み、苦しみながらも、どうにかその答えを見つめられた時に、人は「生きがい」や「しあわせ」と呼ぶのだと述べています。」まだまだコロナ禍が続く、先が見通せません。「風に立つライオン」のごとく、たくましく、そして、社会の役に立って人材として、コロナ禍という逆境にも負けず、母校である安田中学校を巣立って行ってほしいと願っています。

最後になりましたが、ご列席の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様の前途を祝福し、心よりお祝い申し上げます。

また、この三年間、当校の教育活動をはじめ、多大なるご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げますとともに、卒業生の限りないご活躍をご祈念申し上げ、式辞と致します。



令和4年3月2日

学 校 長

